

名前: 阪口 功

所属機関: 学習院大学

国: 日本

メール: isa.o.sakaguchi@gakushuin.ac.jp

受賞年: 2017

阪口功氏は現在、カリフォルニア州モントレーにあるミドルベリ
ー国際大学院のブルーエコノミーセンターの客員学者です。

プロジェクトタイトル: 日本における持続可能な漁業のための基
盤構築

阪口功博士は、日本における漁業のガバナンスと漁業認証スキームについての研究を行
っています。国際関係分野に長年にわたって従事しており、グローバル環境ガバナンス
における民間組織の役割と科学知識を専門としています。

日本の海域で乱獲が横行し、不法に採捕された魚が輸入され続けているにも関わらず、
日本政府は持続可能な漁業方針をいまだ施行していません。日本の漁業管理機関は昔か
ら「様子見」のアプローチをとっており、ごく少数の商業用漁業の対象となる魚種に漁
獲量制限の名目値を適用し、報告や規制のない不法な漁業をなくすようにという国際的
な要求に対して受け身の反応を示すのみです。その結果、枯渇した魚種が人為的に低価
格で売られるという状態が続いています。

坂口博士はPew海洋保全フェロープログラムで、日本における国立科学機関と、持続
可能な管理への移行を行っているノルウェー、ペルー、韓国の同等機関とを比較しま
す。このプロセスの一環として、これらの国をはじめとする他国が採用している保全対策
を見いだすことで、将来的な改革の枠組みを構築します。また、日本と他国の漁業管理
方針と、国連食糧農業機関によって設定されたグローバル漁業の標準とを比較します。

